

One-Bo 利用インタビュー

クラゼクト株式会社 様





クラゼクト株式会社

クラゼクト株式会社

営業統括 中島 絵里奈 様

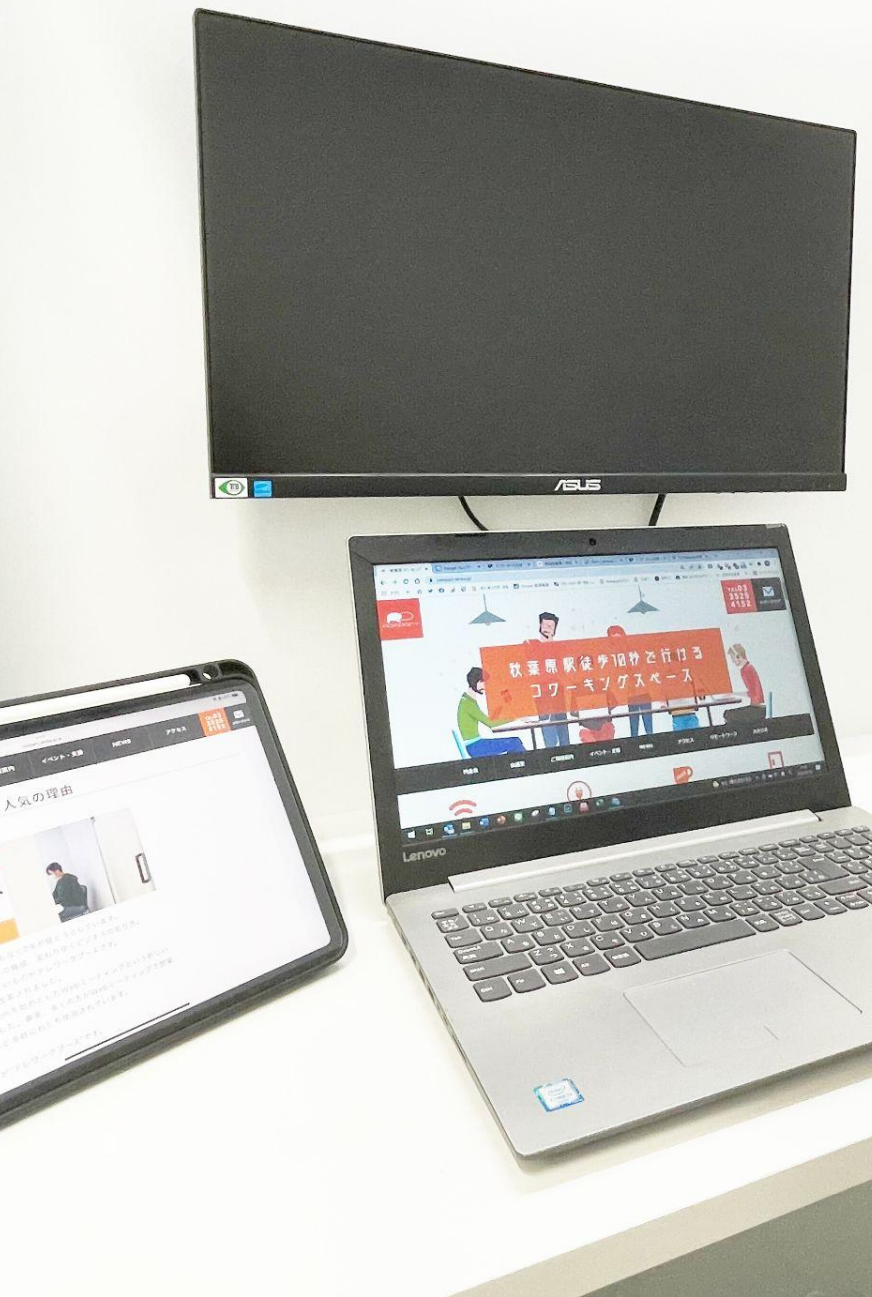
クラゼクト株式会社

クラゼクト株式会社(以下:クラゼクト)は2015年に設立し、自由な働き方促進を軸に人材サービス、コワーキング、福祉といった様々な事業を展開しています。2017年には、秋葉原にコワーキングスペース「Rampart」をオープン。秋葉原駅から徒歩10秒の駅チカ立地でビジネスマンにとっても人気です。

コロナ禍によって変化したお客様の需要

クラゼクト株式会社(以下:クラゼクト)では、設立以来、人材サービス、コワーキングスペースといった様々な事業に挑戦してきました。人材サービスを行っていく中で、障がいを持つ方も含めたサポートを行いたいという思いから、2022年4月には福祉事業部を発足しました。現在は主に、「人材サービス」、「コワーキング」、「福祉」の3事業を軸に活動をしています。

2017年からはじめたコワーキング事業は、色々な人が行き交う交流の場を作りたいという思いでスタートしました。開業当初から個室ブースの導入を検討していましたが、購入までは至っていませんでした。しかし、コロナ禍となり、オンライン会議が主流になったことで、お客様の個室ブースを利用したいというニーズが一気に高まりました。実際、ご来店いただいたお客様の中には、「個室ブースが無いなら...」という理由でお帰りいただく方もいらっしゃったので、早急に導入するの必要を感じました。



低価格で高くオリティ、一番バランスが取れていたのが決め手

他社も含めてたくさんの個室ブースを検討しました。One-Boより低価格の商品もありましたが、低価格で高くオリティ、両方のバランスが取れていたことがOne-Bo導入の決め手となりました。導入後は、イヤホンの混線や、他のお客様からパソコンが見えるのが気になるなど、お客様からいただいていた不安な声は全て解消されました。

一番のお気に入りポイントは、スマートガラスです。一瞬でオンとオフを切り替えられるので、はじめてご利用いただくお客様にはつい自慢してしまいます。また、使用中はオン、使用後はオフにすることで使用状況が一瞬で把握できるのも、運用がしやすく気に入ってます。また、オプションで取り付けたモニターも、2画面で作業ができるのでとても好評です。



今ではOne-Boを利用するためにご来店されるお客様も

2022年1月中旬に設置をしてから、現状約 1000人のお客様にご利用いただいています。(※ 2022年10月時点)リピーターもかなり多く、いつも満室です。今ではOne-Boを利用するためにご来店されるお客様がいるほど、人気のスペースとなっています。

最近では、都心から地方まで様々な場所でコワーキングスペースが展開されており、働ける場所が選べる環境になってきていると思います。今後コロナが終息しても、オンライン会議の文化は続いていくと思うので、One-Boのような個室ブースの需要はどんどん高まっていくのではないのでしょうか。クラゼクトでは、コワーキング事業のノウハウを生かして新規開業支援にも注力しており、近頃「コワーキングスペースを始めたい」といったご相談をよくいただきます。今後も自由な働き方促進を軸に、より多くのビジネスを創造、育んでいきたいです。